

ESSEC Summer Module 参加報告

会計研究科 2年 松原健太



2018年6月25日(月)から7月13日(金)までの間、ESSEC(フランス・パリ郊外)のSummer Moduleに参加させていただきました。このプログラムには世界各国からMBAの学生が集いますが、今回はアメリカ、カナダ、オーストラリアをはじめ9ヶ国から計34名が集いました。

事務局の計らいで参加前からfacebookのグループが立ち上がり、また初日には"Team Building"という自己表現やチームワークが必要とされる講義が設定されていたこともあり、メンバー同士はすぐに打ち解けました。メンバーは年齢、性別、国籍が異なるうえに属する業界や経歴も多岐にわたり、こうしたメンバー同士で昼夜を共に過ごすことができたことは大変得難い貴重な経験となりましたし、私自身は社会人経験者ですが、むしろ社会人経験のない学生でも得るところが大きく、視野が広がるのではないかと感じました。

カリキュラムは大きく以下の3通りに区分でき、途中Wine & Cheese Partyや2回のDay Tripも挟みながら、学びと交流の場がバランスよく組まれていました。いずれも会計からは少し離れた新鮮な内容で、ワークショップのような講義形式にて活発な意見交換や質疑応答が行われていました。また度々チームに分かれてディスカッションをして、プレゼンを行いました。与えられた短時間で効果的・効率的に内容を纏める能力やプレゼンスキルの高さには本当に驚かされましたし、大いに刺激になりました。

<カリキュラム>

- ①MBA的な講義 (Team Building, Intercultural Management, Leading in a responsible and responsive way, etc.)
- ②ヨーロッパについて (Europe and the Global economy, European Geopolitics, European Negotiation, etc.)
- ③Luxury Brand Management (ESSECが強みを持つ分野の一つ: Cultural Foundations of Luxury Brands, Luxury Brand Strategic Management and Int'l Distribution Strategies, etc.)

またこの時期のパリは夜22時頃まで明るく、講義が終わると長い夜の始まりです。キャンパスがあるCergyはパリから約40分の郊外に所在し、私含め多くのメンバーがパリ市内に宿を借りて通学していましたが(寮もキャンパス近くにありますが)、講義後はメンバー同士で誘い合い、パリに出かけては散策したり、ショーやライブを鑑賞したり、美味しいものを堪能したり、また週末には地方都市を訪れたり自転車ツアーに参加したりと、とにかく濃厚な日々を過ごしました。ストで電車が動かなかったり、融通が利かないことにも時々遭遇したりしましたが、逆に日本の便利さを痛感しましたし、美しいパリの風景や日々の仲間達との充実した出来事にそんな苦労も吹き飛びました。そしてまたタイミングよくも街中はワールドカップで盛り上がり、レストランやバーには必ずと言っていいほどスクリーンが置かれていましたが、フランスが順当に駒を進めるにつれて(結果的に優勝)、「Allez les bleus!!!」とヒートアップする人々の熱気にも触れることができました。いや、とにかく熱かったです(笑)

このプログラムに興味がある、または何かご質問などおありの方は何なりとご相談ください。喜んで経験談をシェアさせていただきます。3週間を通じて得た知識・経験、そして賜った素晴らしい出会いは人生のかけがえのない財産となりました。この素晴らしい機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げますと共に、過去にこのプログラムの提携に道筋をつけていただいた小林先生、パリ渡航にあたりご助言をいただいたドーラン先生、手続きをご支援いただいた若山さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。